

## はじめに

聖学院大学政治経済学部では、2016年11月3日（文化の日）、ヴェリタス祭（大学祭）公開日に、第二回文化の日記念公開シンポジウム「児童・生徒・学生をとりまく教育環境の変化 学校—地域—家庭」を開催いたしました。当日の報告を再構成した文書に特別寄稿論文を加えました。

聖学院大学 政治経済学部 ヴェリタス祭 第2回公開シンポジウム  
児童・生徒・学生をとりまく教育環境の変化 学校—地域—家庭

1. 発題 聖学院大学は地域のために何ができるか？  
児童・生徒・学生をとりまく教育環境の変化 学校—地域—家庭  
渡辺 英人（聖学院大学広報部長、政治経済学部准教授）
2. 児童虐待の現場から 柳 真司（上尾市子ども未来部次長）
3. 上尾市における不登校・いじめ対策  
赤羽 洋治（上尾市教育委員会学校教育部上尾市教育センター副主幹）
4. 「居場所」としての学校を考える  
齊藤 友昭（松実高等学園春日部駅前校校長代行）  
荒川 学（松実高等学園企画推進戦略室室長）
4. 大学生にとっての居場所  
平 修久（聖学院大学副学長、政治経済学部教授）
5. 奨学金問題の現状と課題  
柴田 武男（聖学院大学政治経済学部教授）
6. 新しい共同体（家族）の形成を目指して  
—キリスト教の立場から—  
菊地 順（聖学院大学 大学・政治経済学部チャプレン、教授）
7. 特別寄稿 「子ども虐待と弁護士の活動」  
木村 裕二（聖学院大学政治経済学部特任講師）